



2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年11月13日

上場取引所 東

上場会社名 森六ホールディングス株式会社

コード番号 4249 URL <http://www.moriroku.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 栗田 尚

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員 (氏名) 下迫 俊司 TEL 03 (3403) 6102

四半期報告書提出予定日 2020年11月13日 配当支払開始予定日 2020年12月1日

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	66,976	△22.0	1,830	△27.4	1,025	△60.6	△1,472	—
2020年3月期第2四半期	85,901	△9.8	2,522	△45.0	2,605	△43.9	1,376	△64.1

（注）包括利益 2021年3月期第2四半期 △580百万円（－） 2020年3月期第2四半期 177百万円（△95.4%）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	△88.90	—
2020年3月期第2四半期	83.16	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	125,625	65,158	50.9
2020年3月期	122,493	66,467	53.3

（参考）自己資本 2021年3月期第2四半期 63,925百万円 2020年3月期 65,229百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	51.00	—	43.00	94.00
2021年3月期	—	20.00	—	—	—
2021年3月期（予想）	—	—	—	30.00	50.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	149,000	△12.8	3,800	△30.9	3,000	△47.1	200	△94.3	12.07

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期2Q	16,960,000株	2020年3月期	16,960,000株
② 期末自己株式数	2021年3月期2Q	388,628株	2020年3月期	391,585株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期2Q	16,569,552株	2020年3月期2Q	16,553,646株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における国内および世界経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により引き続き厳しい状況にあるものの、経済活動が段階的に再開されるなか、足下では持ち直しの動きもみられています。しかしながら、感染再拡大の懸念もあり、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当社グループの主な事業領域である自動車業界では、中国で急速に市場が回復し、北米や日本でも販売改善が進んでいる一方、東南アジアでは回復が遅れている地域もあります。また、化学品の販売価格形成の基準となるナフサ価格は、引き続き前年を下回る水準で推移しています。

このような事業環境のもと、当社グループは、従業員の安全と事業の継続を最優先し、テレワークやWEB会議等の感染防止策を実施してまいりました。また、需要変動に応じた最適生産体制の維持や次世代自動車に向けた研究開発への取り組みを継続するとともに、経費抑制および原価低減等の収益改善施策を推進してまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は66,976百万円（前年同期比22.0%減）、営業利益は1,830百万円（同27.4%減）、経常利益は1,025百万円（同60.6%減）となりました。また、工場の操業・営業休止期間中の固定費（人件費・減価償却費等）および当感染症に対処するために直接要した費用総額2,189百万円を特別損失に計上した結果、親会社株主に帰属する四半期純損失は1,472百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益1,376百万円）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

①樹脂加工製品事業

樹脂加工製品事業においては、第1四半期に新型コロナウイルス感染症の影響による工場の操業停止等がありましたが、現在はそのすべてが生産を再開し、回復傾向にあります。特に、早期に経済回復が進んだ中国では、生産台数が前年を上回る水準で推移し、北米では生産体質の改善が進んだ結果、収益性が向上しました。

このような結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は39,022百万円（前年同期比27.9%減）、営業利益は1,516百万円（同27.1%減）となりました。

②ケミカル事業

ケミカル事業においては、ファインケミカル分野で売上が順調に伸長し、中国における自動車分野取引の復調もあったものの、日本・東南アジアの回復の遅れ等により、化学品や自動車業界向け原材料の販売が減少したほか、四国化工(株)では高機能フィルムの新工場の稼働により減価償却費が増加しました。

このような結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は27,954百万円（前年同期比12.0%減）、営業利益は394百万円（同31.4%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債および純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は60,639百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,014百万円増加しました。これは主に、受取手形及び売掛金が3,081百万円減少した一方、現金及び預金が5,501百万円増加したこと等によるものであります。

また、固定資産は64,986百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,117百万円増加しました。これは主に、設備投資の抑制により有形固定資産が1,597百万円減少した一方、投資有価証券が2,668百万円増加したこと等によるものであります。

これらの結果、総資産は125,625百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,131百万円増加しました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は48,551百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,617百万円増加しました。これは主に、支払手形及び買掛金が1,176百万円減少した一方、短期借入金が6,208百万円増加したこと等によるものであります。

また、固定負債は11,915百万円となり、前連結会計年度末に比べ823百万円増加しました。これは主に繰延税金負債が639百万円増加したこと等によるものであります。

これらの結果、負債合計は60,467百万円となり、前連結会計年度末に比べ4,441百万円増加しました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は65,158百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,309百万円減少しました。これは主に、利益剰余金が2,185百万円減少したこと等によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末より5,512百万円増加し、17,166百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは4,416百万円（前年同期は4,345百万円）となりました。これは主に、減価償却費3,102百万円、売上債権の減少2,786百万円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは△3,717百万円（前年同期は△5,641百万円）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出△4,097百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは5,014百万円（前年同期は△2,912百万円）となりました。これは主に、短期借入金の増加6,402百万円等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期通期の連結業績予想につきましては、2020年8月7日付の「特別損失の計上ならびに業績予想、配当予想の修正に関するお知らせ」にて公表いたしました通期の連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,681	17,183
受取手形及び売掛金	31,097	28,015
商品及び製品	5,297	5,639
仕掛品	2,568	2,636
原材料及び貯蔵品	3,586	3,791
その他	4,406	3,385
貸倒引当金	△12	△11
流動資産合計	58,624	60,639
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	17,120	18,649
機械装置及び運搬具（純額）	10,517	10,088
工具、器具及び備品（純額）	5,524	5,662
土地	5,384	5,042
リース資産（純額）	148	139
建設仮勘定	7,851	5,367
有形固定資産合計	46,546	44,948
無形固定資産	1,004	941
投資その他の資産		
投資有価証券	14,186	16,855
長期貸付金	268	240
繰延税金資産	1,153	1,318
その他	736	688
貸倒引当金	△26	△5
投資その他の資産合計	16,318	19,096
固定資産合計	63,869	64,986
資産合計	122,493	125,625

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	19,801	18,624
電子記録債務	2,242	1,887
短期借入金	12,776	18,984
1年内返済予定の長期借入金	2,620	2,096
リース債務	139	247
未払法人税等	616	465
その他	6,736	6,245
流動負債合計	44,933	48,551
固定負債		
長期借入金	5,007	5,051
リース債務	327	571
繰延税金負債	4,369	5,008
退職給付に係る負債	557	491
資産除去債務	168	169
その他	660	623
固定負債合計	11,092	11,915
負債合計	56,025	60,467
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,640	1,640
資本剰余金	4,779	4,782
利益剰余金	54,307	52,121
自己株式	△239	△237
株主資本合計	60,487	58,307
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,393	7,281
為替換算調整勘定	△887	△1,896
退職給付に係る調整累計額	△69	△74
在外子会社のその他退職後給付調整額	304	308
その他の包括利益累計額合計	4,741	5,618
非支配株主持分	1,238	1,232
純資産合計	66,467	65,158
負債純資産合計	122,493	125,625

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上高	85,901	66,976
売上原価	75,548	58,923
売上総利益	10,352	8,052
販売費及び一般管理費	7,830	6,221
営業利益	2,522	1,830
営業外収益		
受取利息	74	64
受取配当金	231	204
その他	91	103
営業外収益合計	398	372
営業外費用		
支払利息	258	226
持分法による投資損失	30	22
為替差損	1	893
その他	24	34
営業外費用合計	314	1,177
経常利益	2,605	1,025
特別利益		
固定資産売却益	52	14
投資有価証券売却益	184	317
補助金収入	78	66
特別利益合計	315	398
特別損失		
固定資産売却損	6	2
固定資産除却損	10	2
投資有価証券売却損	3	-
減損損失	-	428
新型コロナウイルス感染症による損失	-	2,189
特別損失合計	20	2,623
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	2,900	△1,199
法人税等	1,471	259
四半期純利益又は四半期純損失(△)	1,428	△1,458
非支配株主に帰属する四半期純利益	52	14
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	1,376	△1,472

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	1,428	△1,458
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△467	1,888
為替換算調整勘定	△754	△1,009
退職給付に係る調整額	△12	△5
在外子会社のその他退職後給付調整額	△15	4
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	0
その他の包括利益合計	△1,251	878
四半期包括利益	177	△580
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	126	△595
非支配株主に係る四半期包括利益	50	14

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	2,900	△1,199
減価償却費	3,972	3,102
減損損失	-	428
固定資産売却損益(△は益)	△46	△11
固定資産除却損	10	2
投資有価証券売却損益(△は益)	△180	△317
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△4	△20
退職給付に係る資産及び負債の増減額	△47	△75
受取利息及び受取配当金	△306	△269
補助金収入	△78	△66
支払利息	258	226
持分法による投資損益(△は益)	30	22
新型コロナウイルス感染症による損失	-	2,189
売上債権の増減額(△は増加)	3,544	2,786
たな卸資産の増減額(△は増加)	△182	△869
仕入債務の増減額(△は減少)	△3,475	△1,263
その他	△474	1,581
小計	5,918	6,245
利息及び配当金の受取額	301	246
利息の支払額	△247	△240
新型コロナウイルス感染症による損失の支払額	-	△1,472
法人税等の支払額	△1,626	△362
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,345	4,416
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△17	-
定期預金の払戻による収入	11	11
有形固定資産の取得による支出	△6,095	△4,097
有形固定資産の売却による収入	67	56
無形固定資産の取得による支出	△51	△9
投資有価証券の取得による支出	△71	△69
投資有価証券の売却による収入	301	388
補助金の受取額	212	4
その他	0	△1
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,641	△3,717
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△64	6,402
長期借入れによる収入	-	858
長期借入金の返済による支出	△1,963	△1,348
自己株式の取得による支出	-	△0
配当金の支払額	△777	△712
非支配株主への配当金の支払額	△9	△21
リース債務の返済による支出	△97	△163
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,912	5,014
現金及び現金同等物に係る換算差額	△241	△200
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△4,450	5,512
現金及び現金同等物の期首残高	18,906	11,653
現金及び現金同等物の四半期末残高	14,456	17,166

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	樹脂加工製品 事業	ケミカル事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	54,143	31,757	85,901	-	85,901
セグメント間の内部売上高 又は振替高	101	1,611	1,712	△1,712	-
計	54,244	33,369	87,614	△1,712	85,901
セグメント利益	2,080	574	2,655	△133	2,522

(注) 1. セグメント利益の調整額△133百万円には、セグメント間取引消去538百万円及び各報告セグメントに帰属しない当社の費用△672百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	樹脂加工製品 事業	ケミカル事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	39,022	27,954	66,976	-	66,976
セグメント間の内部売上高 又は振替高	96	1,448	1,545	△1,545	-
計	39,118	29,403	68,521	△1,545	66,976
セグメント利益	1,516	394	1,910	△79	1,830

(注) 1. セグメント利益の調整額△79百万円には、セグメント間取引消去564百万円及び各報告セグメントに帰属しない当社の費用△644百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「ケミカル事業」セグメントにおいて、固定資産に係る減損損失を計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては、428百万円であります。